

▽ 奥山 貴之 講師 OKUYAMA, Takayuki



所 属： 総合文化学部 日本文化学科
 担当科目： ジャパノロジー、グローバルコミュニケーション論
 ゼミナール(3年次・4年次)、日本語教育実習
 初級日本語、日本語総合演習

学歴等のプロフィール

- ① 【 主要学歴 】 ② 【 学 位 】 ③ 【 所 属 学 会 】 ④ 【 主要な社会的活動 】

- ① 法政大学大学院人文科学研究科修士課程(修了)
 ② 修士(文学)
 ③ 日本語教育学会
 ④ BJT ビジネス日本語能力テスト問題編集委員(2011年～2012年)

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) ジャパノロジー	2017年9月～	2年次、講義、選択科目、2単位、授業回数15回 講義だけでなく、学生に個人やグループでの課題をさせ、考えさせながら、より深い関心や理解に繋げる。
2) 日本語教育実習	2017年9月～	3年次、実習、資格科目、2単位、授業回数15回 基礎となる考え方と、形式を教え、実際に授業をやってみせる。その後学生に模擬授業や実習に取り組ませる。実際の留学生に対する日本語の授業の見学にも行かせ、日本語教育の授業への理解をより深め実践力を身に付ける。
3) 日本語総合演習	2017年9月～	留学生科目、授業、授業回数15回 上級クラスの日本語の授業。アカデミックなタスクに対応できるように、1)情報の読み取り、2)要約、3)発

3) 外国人留学生の受け入れ世話役	2017年9月～	表、4)意見・疑問をだす、を繰り返す。また調査発表も行う。学生は、言語的なフォローを受けながら、日本の大学で学ぶに相応しい日本語力と思考力を身に付ける。 2017年度受け入れ留学生数3名
-------------------	----------	--

研究業績等

【主要論文及び主要著書】

《論文・著書》

- ・「私小説の可能性 — 呂赫若『玉蘭花』論」『私小説研究』第10号 私小説研究会 2009年
- ・『私小説ハンドブック』（共編著）勉誠出版 2014年
- ・「大胆な意思表示としての楊逵『泥人形』」『富士論叢』59巻1号 2014年
- ・『日本語学習者のための読解厳選テーマ10 中上級』（共著），凡人社，2015年
- ・「思考に支えられた言語の使用を促す小説読解授業の可能性 内容言語統合型学習 CLIL (Content and Language Integrated Learning) として 「羅生門」と「レキシントンの幽霊」を教材とした場合」『富士論叢』第61巻第1号 2016年
- ・「高度外国人材に求められるビジネス日本語フレームワークの構築—直観的手法を中心に—」『琉球大学国際教育センター紀要』（共著）創刊号，p1-14，2017年3月

《学会発表論文》

- ・「内容を重視したビジターセッションにおける留学生の意識形成 —日本語レベルに差があるクラスを対象に—」『2015年度日本語教育学会秋季大会予稿集』2015年
- ・「留学生への日本語教育における小説読解授業の可能性 —「異文化理解」を超えてテキストと向き合う「羅生門」を教材とした場合—」『2015年度沖縄県日本語教育研究会予稿集』2016年
- ・「高度外国人材に求められるビジネス日本語フレームワークの構築—直観的手法を中心に—」（共著）『2015年度沖縄県日本語教育研究会予稿集』2016年
- ・「高度外国人材に求められるビジネス日本語フレームワークの構築 —高度外国人材と企業担当者に対する実態調査を中心に—」『2016年度日本語教育国際研究大会』2016年
- ・「高度外国人材に求められる日本語フレームワークの構築 —高度外国人材に対する実態調査「読む」「書く」を中心に—」（共著）『沖縄日本語教育研究会』2017年

研究分野

- ① 日本語教育 ② 非母語話者の日本語による文学作品の研究

【Eメール・ホームページ等】

Eメール: t.okuyama@okiu.ac.jp

平成29年 10月 20日現在